

避難所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

令和2年6月
防災安全課

第1章 目的・方針

1 目的

今後、新型コロナウイルス感染症が発生している状況において災害が発生し、避難所を開設、運営をするにあたっては、密閉、密集、密接の3密を避ける等、感染症対策を徹底する必要があります。

そのため、現行のむつ市避難所運営マニュアル(平成29年4月策定)第9章の4(3)「感染症対策の徹底」について、具体的な対策を取りまとめました。

災害時には市と市民が、円滑に避難所を運営できるよう協力するとともに、感染症対策について相互理解を深め、避難所における迅速かつ的確な感染症対策に万全を期すために本マニュアルを策定するものです。

2 方針

青森県が令和2年6月に策定した、「新型コロナウイルス感染症に備えた避難所運営の手引き」を踏まえ、市のマニュアルを策定するものとします。

3 マニュアルの改訂

このマニュアルは、新型コロナ感染症を想定した避難所運営訓練や感染症流行の状況等により、適時見直しを行ないます。

第2章 避難所開設・運営・閉鎖

1. 【フェーズ1】事前準備

1-1 市民への広報

①住民が避難する前に準備、検討することを事前に周知

- ✓ まずは自宅の災害の危険性を確認し、自宅で居住が継続できる場合は自宅避難を検討
- ✓ 避難所以外への避難を検討(親戚や知人の家等)
- ✓ マスクやアルコール消毒液、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋等を用意
- ✓ 服薬している薬や体調管理のためのサプリメント等を用意
- ✓ 受付時の混雑を避けるため、「避難者カード」【様式1】(P8)を事前に記入、持参
- ✓ 避難所に行く際はマスクを着用

- ②避難所の感染症対策（2 m間隔の確保等）の周知
- ③避難警戒レベル情報を基に早期避難を徹底するよう周知

1-2 資機材の準備について

- ①避難所の運営に必要な資機材・備蓄品を整備する【資料1】（P6）

1-3 避難所不足への対応

- ①学校を避難所に行っている場合は、体育館のほか空き教室等の活用
- ②指定避難所以外の施設として、宿泊施設（旅館・ホテル）等の活用（協定締結）を検討
- ③要配慮者の避難先として、宿泊施設（旅館・ホテル）等の活用（協定締結）を検討
- ④学校のグラウンド等におけるテント泊や車中泊等の検討

1-4 避難所レイアウトの作成

- ①避難所のレイアウトは、避難所レイアウト例【資料2】（P7）の例による

2. 【フェーズ2】避難所運営

2-1 避難所のレイアウト【資料2】（P7）

- ①養生テープ等を使用し、人と人との間隔を2 m確保する居住スペースを設置

- ✓ 避難者が居住スペースに入る前に、区画を養生テープ等で示しておく
- ✓ トイレ、洗面所、洗濯場や携帯電話の充電場所等は、密集にならない運用が重要

- ②発熱や咳等、感染の疑いがある避難者等の専用スペースの設置

- ✓ トイレや洗面所等も含めて居住スペースと専用スペースの分離を確認
- ✓ 居住スペースと専用スペースの動線が交わらないことを確認
- ✓ 「専用スペース」には、パーテーションや簡易テントを設置

- ③専用スペースの対象者

専用A・・・新型コロナウイルス感染症の患者（PCR検査陽性等）

専用B・・・健康観察期間中の濃厚接触者で37.5℃以上の発熱または咳や息苦しさを有する者及び発症前14日以内に海外渡航歴があり、37.5℃以上の発熱または咳や息苦しさを有する者

専用C・・・健康観察期間中の濃厚接触者（発熱等の症状が無い者）

専用D・・・濃厚接触者以外で発熱等の症状を有する者

専用E・・・乳幼児と一緒に避難した者又は妊娠中の者

- ④パーテーションや簡易テントは、専用スペースへの設置を優先するが、少しでも多くの方が避難できるよう居住スペースにおいても積極的に活用

- ⑤学校（体育館）を避難所に行っている場合、空き教室等を活用した「居住スペース」

の分散化を検討

2-2 事前受付の設置【資料2】(P7)

①避難者の健康状態を確認するため、避難所の外に事前受付を設置

- ✓ 避難所開設と同時に事前受付を設置し運営
- ✓ アルコール消毒液を設置し、雨天時はテントを設営
- ✓ 避難者のマスク常用、手洗い(消毒)を徹底

②発熱の有無、問診による体調の確認

⇒発熱や体調不良のない方は、居住スペースへ誘導

⇒発熱や体調不良のある方は、専用スペースへ誘導

- ✓ 非接触型の体温計が望ましい
- ✓ 接触型の体温計を使用する場合、感染防止のため毎回消毒を実施
- ✓ 検温するスタッフは、必ずマスク又はフェイスシールド、手袋を着用

③事前受付の結果により、専用スペース又は居住スペースへ誘導

- ✓ 発熱や体調不良のある方は診察が必要であるため、市災害対策本部、専門機関へ連絡、対応を協議
- ✓ 医療機関等へ搬送するまでの間、専用スペースで待機

2-3 避難所内の感染予防

①事前受付を継続し、新たな避難者については、体温と体調を確認

②衛生環境について指導する衛生班を避難者(住民)の中から配置

③保健師や衛生班の定期的な巡回により、避難所内や車中泊等のすべての避難者の健康管理を徹底(1日1回)

④トイレ、洗面所、洗濯場や充電場所等では、密集にならないよう周知徹底

⑤避難者に体調チェック表を配付し、毎日体温と体調を確認(1日1回)

⑥ポスターやチラシ、呼びかけにより避難者の感染症防止のための運営上の留意点を周知徹底【様式3~7】(P10~P14)

⑦手指消毒用のアルコール消毒液を、次の場所に設置する

- ・避難所(入口、避難所内複数箇所)
- ・受付場所
- ・トイレの出入口
- ・その他必要な場所

【個人の留意点】

- ✓ 前後左右 2 m程度の距離を確保
- ✓ 手洗い、マスク常用(睡眠中もできる限り)
- ✓ 毎日の体温・体調を確認【様式 2】 (P 9)
- ✓ ドアノブ等の共有部分に触れた後は、特に手洗いを徹底
- ✓ 避難所にいる方全員が自らの検温を実施し、体調を確認
- ✓ 飛沫感染を最小限にするため、居住スペース以外で食事をとらない

【避難所の留意点】

- ✓ アルコール消毒液を各入口やトイレ等に設置
- ✓ 手すり、ドアノブ等の人が接触する共有部分は 1 日最低 1 回消毒
- ✓ トイレや洗面所は、1 日最低 1 回の清掃及び消毒
- ✓ ゴミは家族で管理し、密閉して廃棄
- ✓ 土足厳禁

⑧換気の徹底

- ✓ 避難所内では密閉を避け、常時、窓などを開け外気を取り入れる
- ✓ 寒さで常時窓の開放が困難な場合でも、1 時間に 2 回程度換気を行う
- ✓ 夏季や冬季で窓を閉めてエアコンを使用する場合でも、1 時間に 2 回程度、窓を開けて換気する
- ✓ 台風などの風水害時は、風雨の影響が少ない窓を探して開けるなど、できる限り外気を取り入れる

2-4 避難所に感染者（感染が疑われる者）が出た場合

- ①専用スペースへ隔離
- ②市災害対策本部及びむつ保健所へ連絡し、速やかな搬送等の対応を協議
- ③医療機関等に搬送されるまでは、専用スペースで待機

2-5 ゴミの処理

- ①避難所内の良好な衛生環境を保つため、ゴミはあふれさせないように避難者に周知
- ②ゴミ袋からこぼれたゴミは、感染予防のため素手では拾わず、清掃用具などを使用
- ③廃棄の際はゴミ袋の口をしっかりと閉じ、あらかじめ決められたゴミ集積場所置き、感染者等の専用スペースから出たゴミ袋と分ける

2-6 避難所内の禁止行為

- ①避難者が次の行為を行っている場合は、直ちにやめるよう注意する
 - ・息が上がるような運動
 - ・大声を出す、歌う
 - ・マスク未着用での会話

※特に食事中はマスクを外すため、会話を控えるよう避難者に周知

3. 【フェーズ3】閉鎖時の対応

3-1 避難所閉鎖時の部屋、物品の消毒・清掃

- ①避難所の撤収作業を行う際は、必ず、マスク、手袋を着用する
- ②感染症者等が出したマスク等のゴミについては、他のゴミと区別がつくように、ゴミ袋に「感染対応」等の表示をする
- ③施設の原状回復に当たっては、保健所と相談のうえ、避難所内の必要な個所及び感染症対応に使用した資機材を消毒する
- ④「災害時における避難所の環境衛生業務の支援に関する協定」に基づき、可能な範囲で清掃業務を依頼する

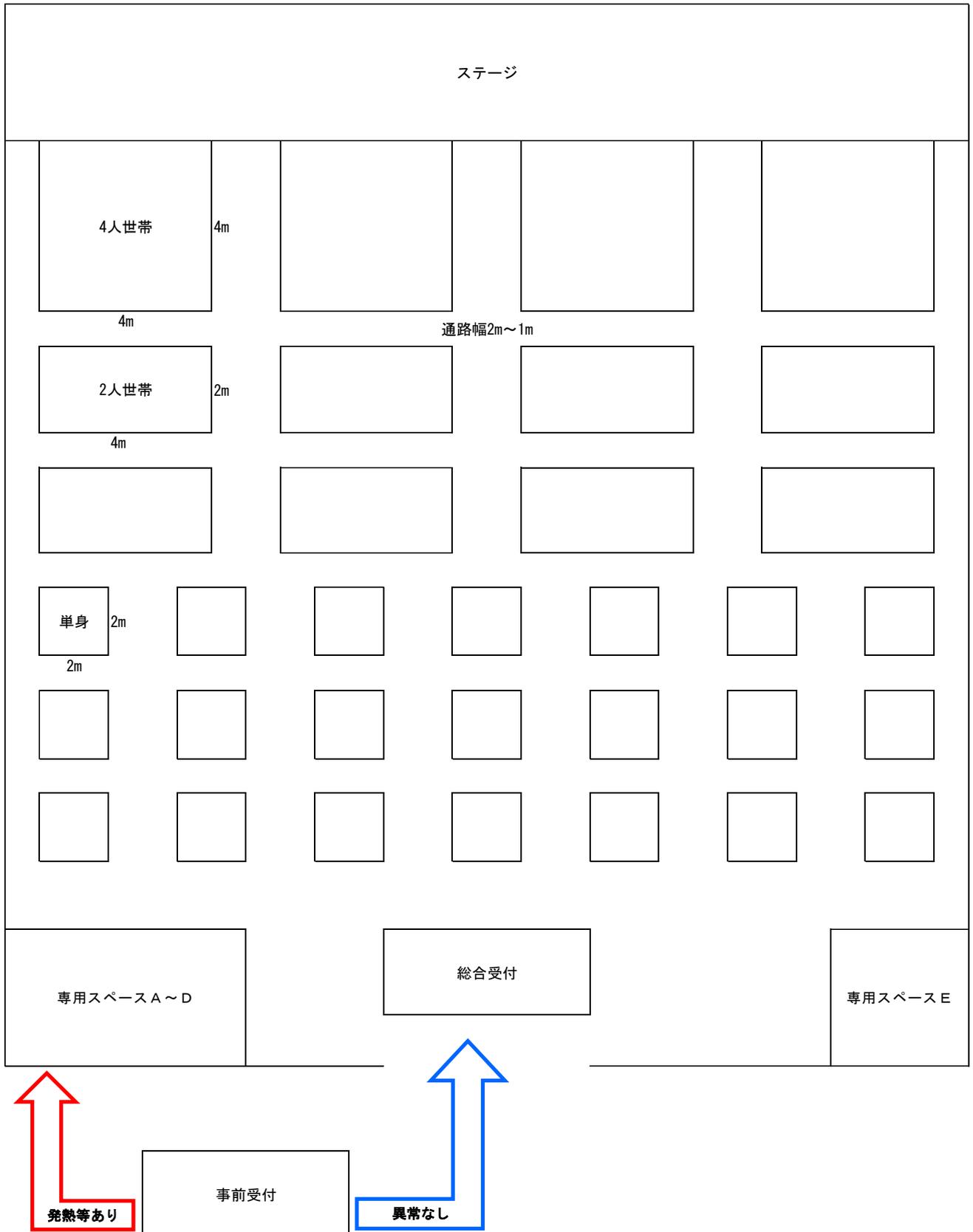
避難所運営における感染症対策に必要な資機材（案）一覧

品 目	用 途	数 量	算 出 根 拠
【居住スペース等の区画明示用】			
養生テープ	居住スペースの区画明示用	126個	7個（350m分）×18避難所
PPロープ8m（2m間隔で印をつけたもの）	養生テープを貼るための補助（スケールの代用）	36本	2本×18避難所
ビニール付養生テープ	専用スペースの仕切り用、感染防止対策	180個	2個（50m/1教室分）×5教室×18避難所
ホワイトボードシート	居住スペース等の表示	18個	1個×18避難所=18個
【感染予防対策用】			
手指消毒用アルコール消毒液（ボトル入りのもの）	感染予防対策	126個	（トイレ男1、女1、公共スペース等5）×18避難所
テント	避難所の外に設置する事前受付用	18張	1張×18避難所
マスク	感染予防対策	8,094枚	（避難者2,500人×1枚×3日）+（職員32人×1枚×18避難所）+（保健師6人×1枚×3日）
液体石けん（ボトル入りのもの）	感染予防対策	72個	（トイレ男1、女1、公共スペース等2）×18避難所
非接触式体温計	体調確認用	36個	2個×18避難所
使い捨てゴム手袋	感染予防対策	2,328組	（衛生班250人（全体の2割と想定）×2回×3日）+（運営職員20人×2回+片付け6人）×18避難所
ゴミ袋	感染予防対策（マスク、ゴム手袋等を廃棄するためのもの）	36セット	2セット（1セット10枚入り）×18避難所
施設消毒液（次亜塩素酸ナトリウム、など）	感染予防対策	18個	原液ボトル×18避難所
除菌用ウェットティッシュ	感染予防対策	54個	（掃除用50枚×2個、閉鎖時用50枚×1個）×18避難所
ペーパータオル	感染予防対策	144個	（トイレ男2、女2、公共スペース等4）×18避難所
ゴミ箱（足踏み式）	感染予防対策（マスク、ゴム手袋等を廃棄するためのもの）	36個	2個×18避難所

令和2年6月29日現在

※資機材の整備数量については、訓練や感染の状況等により、見直しを行うものとする。

避難所レイアウト例



- ・事前受付で「避難者カード」を受け取り、異常なしは総合受付へ、発熱等がある場合は専用スペースに案内する **様式1**
- ・総合受付で居住スペースへ案内する

避難者カード

記入日	年 月 日	受付日時			避難所内の 居住区域	
フリガナ		性別	生年月日		年齢	避難確認
家族代表者		男・女				
氏名						
住所						
電話番号						
緊急連絡先	氏名					
	住所					
	電話番号					
家族構成	氏名	性別	年齢	体温	健康状態(あてはまる症状をチェック)	
				°C	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚障害	
				°C	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚障害	
				°C	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚障害	
				°C	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚障害	
				°C	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> くしゃみ <input type="checkbox"/> のどの痛み <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 息苦しさ <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 味覚嗅覚障害	
その他、疾病・負傷の状況や特別な要望があれば記入してください。						
安否確認のための情報提供(どちらかを○で囲んでください)						
親族・同居人からの照会に対し、情報を提供することに <input type="checkbox"/> 同意する ・ <input type="checkbox"/> 同意しない						
避難所記入欄【利用不可の対応】						

※太枠の中を記入してください

健康管理チェックリスト

氏名 _____

- 毎朝、体温を測定して記入してください。
- こまめな手洗いを行い、咳エチケットを守りましょう。
- 以下の場合は、必ず避難所運営スタッフに報告してください。
 - ・ 37.5℃以上の発熱がある
 - ・ 強いだるさ（倦怠感）がある。
 - ・ 強い息苦しさ（呼吸困難）がある。

避難所
入所時

日付	/	/	/	/	/	/	/
時間	:	:	:	:	:	:	:
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	無・有						
強い息苦しさ	無・有						

日付	/	/	/	/	/	/	/
時間	:	:	:	:	:	:	:
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	無・有						
強い息苦しさ	無・有						

日付	/	/	/	/	/	/	/
時間	:	:	:	:	:	:	:
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	無・有						
強い息苦しさ	無・有						

日付	/	/	/	/	/	/	/
時間	:	:	:	:	:	:	:
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	無・有						
強い息苦しさ	無・有						

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



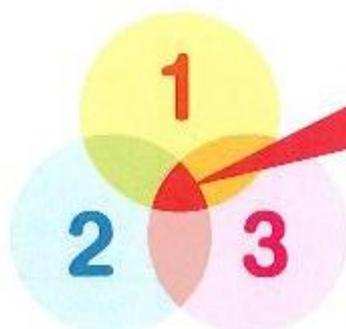
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。





感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

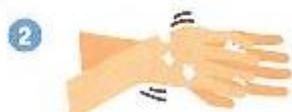
①手洗い

正しい手の洗い方

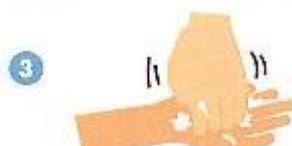
手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や駅、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする



咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



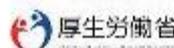
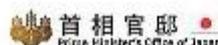
1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う



厚生労働省



感染症対策へのご協力をおねがいします

！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に

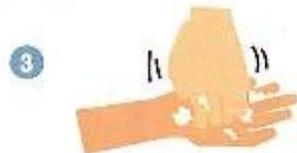
- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。



厚生労働省 検索



感染症対策へのご協力をおねがいします

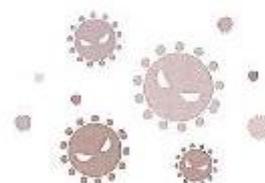
咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人につさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



3つの咳エチケット

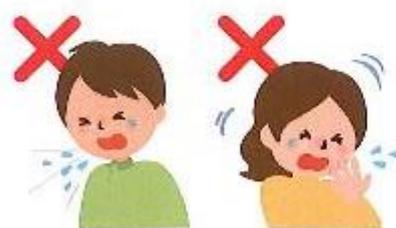
電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う

2 ゴムひもを
耳にかける

3 隙間がないよう
鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索





令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

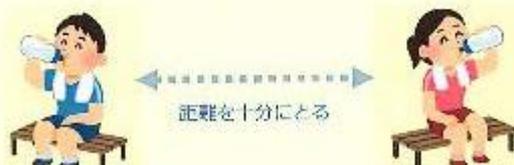
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・温度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



新型コロナウイルス感染症に関する情報:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

熱中症に関する詳しい情報: <https://www.wbgt.env.go.jp/>

